

科目名 (科目番号)	放射線関係法規Ⅱ (ICRP障防法) (時間割参照)	教員名 中里 一久	学科等	診療放射線	選択	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		水5	B314研究室	
授業概要	医療領域のみならず、放射線利用領域全般における放射線安全管理・規制に重要な「放射性同位元素等による放射線障害防止に関する法律(放射線障害防止法)」について、総合的に学習する。ここでの学習を「放射線取扱主任者試験」の法令に活用することを目標とする。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	放射線障害防止法(1)	到達目標:放射線障害防止法上の定義, 希望概念等を理解する。 学習内容:定義、許可と届出等に関する内容を理解する。				
	2	放射線障害防止法(2)	到達目標:放射線障害防止法の必須項目を理解する。 学習内容:施設検査および変更許可に係る各項目を学習する。				
	3	放射線障害防止法(3)	到達目標:放射線障害防止法の必須項目を理解する(2)。 学習内容:行為基準、運搬、記帳の義務等を学習する。				
	4	放射線障害防止法(4)	到達目標:放射線障害防止法の必須項目を理解する(3)。 学習内容:放射線障害予防規定, 測定, 定期確認等を学習する。				
	5	放射線障害防止法(5)	到達目標:放射線障害防止法の必須項目を理解する(4)。 学習内容:教育訓練, 健康診断, 放射線取扱主任者, 報告徴収等を学習する。				
	6	労働安全衛生法 電離放射線障害防止規則(1)	到達目標:労働安全衛生法・電離放射線障害防止規則における要点を理解する。 学習内容:電離放射線障害防止規則に規定される総則・各測定を学習する。				
	7	労働安全衛生法 電離放射線障害防止規則(2)	到達目標:電離放射線障害防止規則における危機管理の考え方を理解する。 学習内容:電離放射線障害防止規則に規定される汚染・緊急時の措置を学習する。				
	8	放射線リスクマネジメント論総論	到達目標:放射線防護に関わるその他の法律についても理解する。 学習内容:作業環境測定法関係、輸送関係等の概要を学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	8版(2018) 放射線取扱の基礎		日本アイトープ協会 編		丸善		
参考図書	(1)放射線安全管理学 改訂2版 (2)放射線関連法規概説-医療分野も含めて		(1)西谷源展・鈴木昇一編 (2)川井恵一		(1)オーム社 (2)通商産業研究社		
教員からのメッセージ	放射線取扱主任者試験の必須科目でもあるので、その受験が可能になるように演習問題をしっかり復習する必要がある。また、放射線関係法規は国家試験のみならず業務上とても重要な事項である。						